

令和5年度

財政援助団体等監査報告書

富津市監査委員

目 次

第1 監査の概要

1 監査の種類	1
2 監査の対象	1
3 監査の範囲	1
4 監査の方法	1
5 監査の期間	2
6 監査の場所	2
7 監査の執行者	2

第2 監査の結果

社会福祉法人 富津市社会福祉協議会	3
一般社団法人 富津市シルバー人材センター	8

第1 監査の概要

1 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定に基づく財政援助団体等監査

2 監査の対象

(1) 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会

[所管課] 健康福祉部 社会福祉課・介護福祉課

[団体種別] 補助金交付団体

(2) 一般社団法人 富津市シルバー人材センター

[所管課] 健康福祉部 介護福祉課

[団体種別] 補助金交付団体

3 監査の範囲

令和4年度及び令和5年度8月末現在までの補助金等に係る出納、その他の事務の執行

4 監査の方法

本市からの補助金等の出納、その他の事務の執行が、その目的に沿って適正かつ効果的に行われているかを主眼として、富津市監査基準に準拠し、団体の種別により以下の観点に基づくほか、提出された監査資料及び関係諸帳簿の調査、確認をするとともに、関係職員から説明を聴取し、実施した。

(1) 補助金交付団体

ア 補助金等に係る申請手続きは、適正に行われているか。

イ 補助金等に係る事業は、目的に沿って計画的に執行され、効果を上げているか。

ウ 補助金等に係る会計経理及び財産の管理は、適正に行われているか。

エ 補助金等の精算は、適正に行われているか。

(2) 所管課

ア 補助金等の決定は、関係法令等に適合しているか。

イ 補助金等の額の算定、交付方法・時期・手続等は、適正に行われているか。

ウ 補助金等の効果及び履行の確認は、実績報告書により行われているか。

エ 補助金等交付団体への指導監督は、適切に行われているか。

5 監査の期間

令和5年9月8日から令和5年11月27日まで（事前監査等の期間を含む。）

6 監査の場所

富津市役所本庁舎 5階504会議室

7 監査の執行者

富津市監査委員 磯 貝 昭 一

富津市監査委員 平 野 明 彦

第2 監査の結果

社会福祉法人 富津市社会福祉協議会

1 事務事業の概要

社会福祉法人富津市社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に規定され、地域住民の参加を促し、行政機関、福祉関係団体等と連携を深め、富津市における社会福祉事業及び地域の社会福祉に関する活動を活性化させ、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体である。

2 事業

社会福祉事業（定款第2条抜粋）

- (1) 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
- (2) 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
- (3) 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成
- (4) (1)から(3)のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業
- (5) 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡
- (6) 共同募金事業への協力
- (7) ボランティア活動の振興
- (8) 在宅ケアサービス事業
- (9) 福祉サービス利用援助事業
- (10) 生活福祉資金貸付事業
- (11) 総合相談事業
- (12) 移動支援事業
- (13) 生活支援体制整備事業
- (14) その他この法人の目的達成のため必要な事業

公益事業（定款第41条抜粋）

- (1) 居宅介護支援事業
- (2) 介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業

- (3) 地域包括支援センター受託事業
- (4) 成年後見制度に関する事業
- (5) 生活困窮者自立相談支援受託事業
- (6) 被保護者就労支援受託事業

3 役員及び組織（令和5年8月31日現在）

- (1) 役員 16名
 - 会長 1名（理事長）
 - 副会長 2名
 - 理事 14名（会長及び副会長を含む）
 - 監事 2名
- (2) 評議員 18名
- (3) 事務局 15名（常勤職員7名、臨時職員7名、派遣職員1名）

4 財政援助等の受入状況（令和4年度決算）

- (1) 富津市社会福祉協議会補助金 24,949,733円
- (2) 大佐和地区地域包括支援センター受託金 19,745,891円
- (3) 生活困窮者自立相談支援事業受託金 11,418,480円
- (4) 被保護者就労支援事業受託金 4,499,988円

5 収支決算の状況（令和4年度決算）

社会福祉法人富津市社会福祉協議会から提出された、令和4年度決算書について、その概要は次のとおりである。

令和4年度 本部拠点区分 資金収支計算書

(単位：円)

勘定科目		予算額	決算額	差異	
事業活動による収支	収入	会費収入	7,558,000	7,961,660	△ 403,660
		寄附金収入	310,000	702,322	△ 392,322
		経常経費補助金収入	37,223,000	35,074,928	2,148,072
		受託金収入	6,071,000	6,065,130	5,870
		貸付事業収入	1,000,000	735,000	265,000
		事業収入	3,269,000	3,460,590	△ 191,590
		負担金収入	200,000	190,000	10,000
		受取利息配当金収入	5,000	1,819	3,181
		その他の収入	40,000	196,569	△ 156,569
		事業活動収入計	55,676,000	54,388,018	1,287,982
	支出	人件費支出	34,738,000	31,454,566	3,283,434
		事業費支出	3,321,000	2,318,302	1,002,698
		事務費支出	9,484,000	6,713,620	2,770,380
		貸付事業支出	1,000,000	820,000	180,000
		共同募金配分金事業費	5,910,000	5,690,534	219,466
		助成金支出	4,551,000	4,551,000	0
		負担金支出	23,000	5,000	18,000
		事業活動支出計	59,027,000	51,553,022	7,473,978
事業活動資金収支差額	△ 3,351,000	2,834,996	△ 6,185,996		
に施設整備等による収支	収入		0	0	0
		施設整備等収入計	0	0	0
	支出		0	0	0
		施設整備等支出計	0	0	0
施設整備等資金収支差額	0	0	0		
にその他の活動による収支	収入	事業区分間繰入金収入	4,512,000	3,408,862	1,103,138
		その他の活動による収入	602,000	601,670	330
		その他の活動収入計	5,114,000	4,010,532	1,103,468
	支出	積立資産支出	20,000	6,000	14,000
		事業区分間繰入金支出	2,500,000	1,500,000	1,000,000
		その他の活動による支出	2,975,000	2,871,560	103,440
		その他の活動支出計	5,495,000	4,377,560	1,117,440
その他の活動資金収支差額	△ 381,000	△ 367,028	△ 13,972		
予備費支出	4,873,000	-	4,873,000		
当期資金収支差額合計	△ 8,605,000	2,467,968	△ 11,072,968		
前期末支払資金残高	35,629,000	35,628,270	730		
当期末支払資金残高	27,024,000	38,096,238	△ 11,072,238		

本部拠点区分において、富津市から法人運営にかかる人件費に対して、2,494万9,733円の補助を受けており、これは事業活動収入総額の45.9%を占めている。

事業活動による支出の主なものは、職員、臨時職員等の人件費3,145万4,566円(事業活動支出総額の61.0%)である。

令和4年度 公益事業拠点区分 資金収支計算書

(単位：円)

勘定科目		予算額	決算額	差異	
事業活動による収支	収入	受託金収入	40,168,000	35,664,359	4,503,641
		事業収入	2,000,000	2,974,000	△ 974,000
		負担金収入	60,000	43,000	17,000
		介護保険事業収入	10,016,000	8,224,932	1,791,068
		その他の収入	11,000	0	11,000
	事業活動収入計		52,255,000	46,906,291	5,348,709
	支出	人件費支出	48,497,000	37,513,979	10,983,021
		事業費支出	2,677,000	1,314,144	1,362,856
		事務費支出	9,977,000	6,086,762	3,890,238
		負担金支出	50,000	2,400	47,600
事業活動支出計		61,201,000	44,917,285	16,283,715	
事業活動資金収支差額		△ 8,946,000	1,989,006	△ 10,935,006	
施設整備等による収支	収入		0	0	
		施設整備等収入計	0	0	0
	支出		0	0	
		施設整備等支出計	0	0	0
施設整備等資金収支差額		0	0	0	
その他の活動による収支	収入	事業区分間繰入金収入	2,500,000	1,500,000	1,000,000
		その他の活動収入計	2,500,000	1,500,000	1,000,000
	支出	事業区分間繰入金支出	4,855,000	3,408,862	1,446,138
		その他の活動支出計	4,855,000	3,408,862	1,446,138
その他の活動資金収支差額		△ 2,355,000	△ 1,908,862	△ 446,138	
予備費支出		8,220,000	-	8,220,000	
当期資金収支差額合計		△ 19,521,000	80,144	△ 19,601,144	
前期末支払資金残高		23,534,000	23,534,669	△ 669	
当期末支払資金残高		4,013,000	23,614,813	△ 19,601,813	

公益事業拠点区分において、事業活動による収入の主なものは、富津市からの受託金収入で、大佐和地区地域包括支援センター受託金収入1,974万5,891円（事業活動収入総額の42.1%）、生活困窮者自立相談支援事業及び被保護者就労支援事業受託金1,591万8,468円（事業活動収入総額の33.9%）であり、これは事業活動収入総額の76.0%を占めている。

事業活動での支出の主なものは、職員、臨時職員等の人件費3,751万3,979円（事業活動支出総額の83.5%）である。

6 監査の結果について

出納及びその他の事務の執行状況については、おおむね適正に処理されていると認められた。

なお、今後の社会福祉法人富津市社会福祉協議会（以下「社協」という。）の更なる発展に資するため、次のとおり意見を付する。

近年、新規採用職員等の退職が継続している状況であり、数年後、職員が定年退職を迎える際、法人運営に問題が生じる事が予想される。

また、現在、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、生活困窮者の相談業務などが増加しており、不測の事態にも備えるため、職員体制の整備が必要と思われる。

こうしたことを踏まえ、10年後を見据え、職員の定員管理や育成等に係る適正化計画の策定が必要であると考えため、検討されたい。

なお、所管課においても、計画策定にあたっては、現状を十分に把握するとともに適切に助言及び指導されたい。

コロナ禍や原油価格・物価高騰など、近年の社会情勢の変化により市民ニーズも多様化していることから、社協の役割が一層重要となっている。

今後も、地域に寄り添い、富津市民が住み慣れた地域で、安心して暮らすことができるよう、社協が地域の中核となり、所管課との連携体制を強化し、地域福祉の向上に努めていただくよう望むものである。

一般社団法人 富津市シルバー人材センター

1 事務事業の概要

一般社団法人富津市シルバー人材センターは、高齢者等の雇用の安定等に関する法律第37条に規定する団体であって、社会参加の意欲がある健康な高齢者に対し、地域社会と連携を保ちながら、その希望、知識及び経験に応じた就業の機会を確保し、生活感の充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする団体である。

2 事業（定款第4条抜粋）

- (1) 高齢者の就業に関する情報の収集及び提供
- (2) 高齢者の就業に関する調査研究
- (3) 高齢者の就業に関する相談
- (4) 臨時的かつ短期的な就業(雇用によるものを除く)又はその他の軽易な業務に係る就業(雇用によるものを除く)を希望する高齢者のための就業機会の確保及び組織的な提供及び職業紹介事業又は労働者派遣事業
- (5) 高齢者に対する臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習会などの実施
- (6) 公共施設の受付、清掃、管理等の受託
- (7) その他第3条の目的を達成するために必要な事業

3 役員及び組織（令和5年8月31日現在）

- (1) 役員 4名
 - 代表理事 1名
 - 理事 3名（代表理事を含む）
 - 監事 1名
- (2) 事務局 6名（臨時職員6名）

4 財政援助の受入状況（令和4年度決算）

富津市シルバー人材センター運営費補助金 3,100,000円

5 収支決算の状況（令和4年度決算）

一般社団法人富津市シルバー人材センターから提出された、令和4年度決算書について、その概要は次のとおりである。

令和4年度 正味財産増減計算書

（単位：円）

勘定科目	当年度	前年度	増減
一般正味財産増減の部			
經常増減の部（当期經常増減額）	△ 2,006,665	△ 1,232,161	△ 774,504
經常収益	43,453,255	38,623,226	4,830,029
受託事業収益	37,031,537	32,240,116	4,791,421
労働者派遣事業等受託収益	0	0	0
受取会費	221,700	183,000	38,700
受取補助金等	6,200,000	6,200,000	0
受取寄附金	0	0	0
雑収益	18	110	△ 92
經常費用	45,459,920	39,855,387	5,604,533
事業費	43,887,240	32,620,600	11,266,640
管理費	1,572,680	7,234,787	△ 5,662,107
經常外増減の部（当期經常外増減額）	0	0	0
經常外収益	0	0	0
經常外費用	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,006,665	△ 1,232,161	△ 774,504
一般正味財産期首残高	△ 2,628,180	△ 1,396,019	△ 1,232,161
一般正味財産期末残高	△ 4,634,845	△ 2,628,180	△ 2,006,665

収益の主なものは、受託事業収益 3,703万1,537円（經常収益の85.2%）であり、事務費等にかかる運営費補助金として、国庫補助及び市補助を合わせた620万円は、經常収益の14.3%である。なお、富津市から人件費及び管理費の一部に対して、310万円の補助を受けている。

費用の主なものは、支払配分金、支払材料費、給料手当等の事業費4,388万7,240円（經常費用の96.5%）であり、中でも支払配分金3,042万687円は、經常費用の66.9%を占めるものである。

令和4年度 貸借対照表

(単位：円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	2,140,883	流動負債	6,775,729
現金及び預金	870,278	短期借入金	3,000,000
前払費用	0	未払金	2,823,137
未収金	1,270,605	預り金	952,592
固定資産	1	固定負債	0
有形固定資産	1		
		負債合計	6,775,729
		(正味財産の部)	
		一般正味財産	△ 4,634,845
資産合計	2,140,884	負債及び正味財産合計	2,140,884

資産のうち、流動資産は、現金及び預金87万278円及び未収金127万605円であり、固定資産は、有形固定資産1円で、車両運搬具（軽トラック）である。

負債の主なものは、流動負債で、短期借入金300万円及び配分金等の未払金282万3,137円である。

6 事業の実績（令和4年度報告書抜粋）

(1) 会員数

令和4年度期首時点 118名（男性78名、女性40名）

令和4年度期末時点 137名（男性92名、女性45名）

(2) 会員延べ稼働日数 6,744日

*内訳	公共事業	762日
	一般企業等	4,385日
	個人・家庭	1,563日
	独自事業	34日

7 監査の結果について

監査の結果、市補助金に係る出納については、おおむね適正に処理されていると認められたが、一部改善等を要する事項が見受けられたので、以下のとおり意見を付するものである。

<改善等を要する事項>

1 一般社団法人富津市シルバー人材センター

- (1) 市からの補助金交付決定通知書の收受日前に、当該補助金交付請求書の起案がなされていたため、適正な事務の執行に努められたい。
- (2) 定款をはじめとする規定等に不備が見受けられたため、現在の運用に即した見直しを行うなど適切に整備されたい。
- (3) 科目別経費内訳書は適正に処理されているが、財務諸表等への計上誤りが複数にわたり判明したため、適切な確認体制を構築されたい。

2 所管課（介護福祉課）

- (1) 補助金関係事務において、一般社団法人富津市シルバー人材センター（以下「センター」という。）から提出された交付申請及び実績報告に係る書類について、補助対象経費の内容等を精査していなかったため、書類審査を徹底し、適正な事務の執行に努められたい。

3 意見

高齢化社会といわれている昨今、富津市においても高齢化が進む中で、センターの会員数は137名（60歳以上人口に占める割合：0.7%）、年間就業率は51.8%であり、近隣自治体と比較し低い数値を示している。

引き続き、課題である累積赤字解消に向けて、入会促進に努めるとともに、業種の拡大、企業への営業活動により就業機会の確保に一層努められたい。

また、所管課においても、多様な地域ニーズに即した事業展開が行えるよう、現状を十分に把握するとともに、積極的に援助されたい。